

TICAD支援策

2012年に債務救済を除く対アフリカODAを倍増し、そのうち、対アフリカ二国間贈与を倍増

主な支援分野

●アフリカがつながる広域インフラ整備支援(*)

- －広域道路網の整備。通関手続円滑化(One Stop Border Post)支援を14箇所で実施
- －電力インフラの整備のため、送配電線を整備



●農業・食料(*)

- －緊急食料支援1億ドル(2008年5月～7月)(うち相当部分をアフリカへ)
- －コメの生産量倍増を含む農業生産性の向上(灌漑施設の整備、品種改良、農業指導員5万人の育成等)



(*) インフラ、農業分野を中心に、最大40億ドルの円借款による支援

●貿易・投資の促進

- －2012年までに対アフリカ投資が34億ドルへ倍増するよう支援
- －「アフリカ投資倍増支援基金」の創設を含む25億ドル規模の金融支援
- －貿易・投資分野の官民合同ミッションの派遣



●コミュニティ開発

- 一村一品運動を12ヶ国で展開
- AMV(アフリカン・ミレニアム・ヴィレッジ)を12ヶ国で展開



●教育と人材育成

- 小学校1000校、約5500教室の建設
- 10万人の理数科教員能力向上
- 地域住民の参画を通じた1万校の学校運営能力向上(「みんなの学校」)



●保健・医療

- 世界基金への新規拠出(5.6億ドル)
- 10万人の保健・医療人材育成
- 母子保健の向上
 - ・40万人の子供の命を救う
 - ・妊産婦の健康、リプロダクティブ・ヘルスの向上



●アフリカの水開発

- 650万人に安全な飲料水を提供するための給水施設整備
- 給水分野の人材5千人の育成
- 貴重な水を一滴たりとも無駄にしないよう、「水の防衛隊」を派遣



●クールアース・パートナーシップ

- 5年で100億ドル規模の支援(全世界)

